

大山廉平 医師

おおくま・れんぺい



Profile

医学博士。

1973年慶應大学医学部卒業。

東京都済生会中央病院診療部部長・
外科部長等を歴任。

その後、東京都済生会渋谷診療所所長
を経て、現在は読売健康保険組合読売
診療所所長を務める。

自己紹介と産業医の役目

貴社産業医として勤務しており、皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

昭和48年3月慶応義塾大学医学部を卒業しました。同時に慶応義塾大学医学部外科学教室へ入室（就職）し、外科医の研修が始まりました。関東各地の関連病院での臨床研修と大学病院での臨床研究並びに専門性の研鑽を行い、膵臓がんの研究で同大学より医学博士の学位を受領しました。

そして東京都済生会中央病院へ就職後、外科医長、外科部長そして副院長として消化器疾患の外科治療に従事し、平成19年東京都済生会渋谷診療所所長として地域医療に貢献して参りました。そして皆様の会社とのご縁が起き、産業医としての選任を受け、貴社における産業医活動を行うに至っております。尚、現在も済生会渋谷診療所での診療を行っておりますが、今は読売クリニック（旧診療所）院長として大手町地域での診療活動を展開しております。

さて、産業医とは、何をするのでしょうか。産業医は会社の味方、社員の味方、そして社会の味方なのです。労働安全衛生法に基づき、50人以上の従業員のいる事業場では、産業医を選任しなければなりません。

皆さんが働く上で、様々な問題があります。職場の環境、職場からでる有害物質、過重労働勤務（時間外勤務）、職業病の発生、職場での各種ハラスメント、従業員の検診と健康管理、メンタルストレスへの対応、長期休業者の復職への援助、休暇取得へのアドバイス……などの問題が上げられます。

すなわち、各種事業場ではいろいろな形での労働災害・疾病が発生しています。そのような事が起きないように皆さんとも相談を進めるのです。

その他には、皆さんの健康に関し、あるいは皆さんのご家族の皆さんの御健康に関してもご相談に応じています。どうぞ気軽にご相談下さい。ご相談内容へのプライバシーの保護される事は言うまでもありません。